



みんなが主役 豊岡小

大 楓



平成26年5月27日 No.4

銚子市立豊岡小学校 中西 健

輝く瞳 温かい心 光る汗

一人一人が最高に輝いた日



5月20日(火)、第59回市内小学校親善陸上大会が、快晴の空のもと、千葉県総合スポーツセンター東総運動場にて開催されました。本校からも、4年生以上全員43名が大会に参加し、35名が選手として出場しました。

会場には、市内13校の選手たちが、それぞれの学校のユニフォームに身を包み、続々と集まってきます。今まで、各学校の運動場で練習を重ねてきた子どもたちにとって、その成果を発揮する場です。競技場は、第2種公認で、15,000人の収容人数を誇ります。その圧倒的な広さと、本格的な施設に「いよいよ本番」と気分も高ぶります。他の学校の子たちは、みんな自分より速そうに見えます。「失敗しないかな」という不安もよぎります。

大会前の壮行会では、子どもたちに「順位ではない。練習で高めてきた自分の力を思い残すことなく出し切ってほしい。」と話しました。また、「競技だけが大会ではない。競技中の態度や友だちへの応援も大切なこと。全員の気持ちを一つにして心に残る最高の大会にしてほしい。」と話しました。

大会中、声援を送りながら、子どもたち一人一人をカメラ片手に追いつけた私の目に映ったのは、「歯を食いしばって全力で走る姿」「最後まであきらめない姿」「ひるまず立ち向かっていく姿」「友だちの活躍を自分のことのように喜ぶ姿」でした。

次は、陸上部キャプテンの向後寛人くんの作文です。

ぼくが陸上部で学んだことは、陸上部みんなで協力してやる時は、誰か一人でも手を抜いたり、集中力が欠けてしまったりしたら、いい結果は出ないということです。それから、あいさつや返事は、感謝の気持ちを伝えるためということにも気づきました。ぼくの知らない人でも、ぼくの知らない所で、陸上大会の準備などをしてくれています。大会では、会場に入る前や他の学校の方に、何度もあいさつをしました。(略)大会では、感謝の気持ちを込めてあいさつをしたり、全力を出すことができました。

豊岡小、43名の子どもたちの頑張りを称えたいと思います。そして、「43名の心をつなげたチームワーク」にも、「たくさんの方々へ感謝しようとする心」にも、心から拍手を送ります。

きみたちは、最高に輝いていました。

【入賞おめでとう】

4年女子100m	6位	古川 朱真さん	6年男子60mハードル	3位	常世田翔太くん
5年男子60mハードル	1位	伊藤 颯斗くん	6年男子走り幅跳び	4位	宮内 佑樹くん
5年男子1000m	3位	向後 成世くん			